

群馬中里 木古里ボルダー

2017.12.1 retK

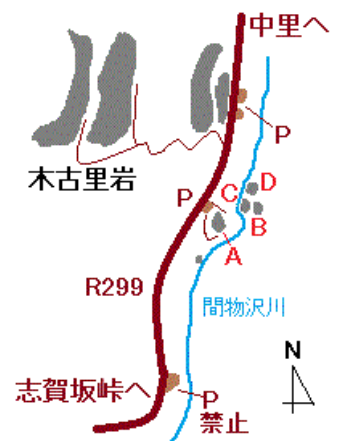
今年の冬の訪れは早く、実家での滞在中、3日連続で里に積雪が見られた。強力な寒気が大陸から流れこんだが、その後は例年の初冬のように感じに戻ってきた。急いで雪の中で冬囲いを済ませたが、それほど急ぐ必要はなかったようだ。先日帰京し、久しぶりに近場のボルダーに行ったところ、ちょっとしたことでギックリ腰が再発し、暫くクライミングは休業状態になってしまった。慢性腰痛からきているのだが、寒くなるとどうしても身体が固まってきてしまう。十分なストレッチをしたつもりだが、クセになってしまっているようで、今後も腰については十分配慮していく必要があるようだ。

いろいろあってクライミングの回数は少ないのだが、今回は帰省の往復に立ち寄った幾つかのボルダーエリア(木古里、土坂峠、坂本)を続けて紹介したい。

さて木古里ボルダーから紹介するが、何年も前のこと、木古里岩をトライしていた頃、駐車スペースから間物沢川を覗くと、ボルダーのようなものが見えたので沢まで降りて行ってみると、大きめの石灰岩のボルダーが見つかった。ガバだらけであったため、当時はトライする気もなく写真だけ撮って今まで放っておいたが、今年になり、ちょっと気になり実家からの帰路に覗いてみると、ちょっと遊べそうな感じだったので、その後、掃除をしてトライしてみた。

そこそこ大きくて楽しめるというものの、お薦めできるという程のボルダーではないので、こんなボルダーもあるということで情報提供の意味合いで紹介する。もし訪れる場合は、木古里岩や中里の岩場を利用したついでに寄ってみるのもいいかもしれない。

アクセスは木古里岩と同じであるが、何台も停められるスペースはない。上流側のカーブのスペースは業者が使うスペースなので、駐車は禁止となっている。ボルダーへのアプローチは、1台のみ停められるスペースから踏み跡を下って直ぐである。ボルダーの上下流両方から降りられるが、上流側からの方が降りやすい。

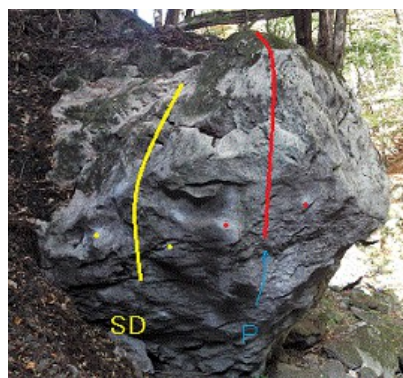


《課題紹介》

●A 岩

左:上流側 右:川側と下流側

気持ちとしては、上流側の赤ラインのSDを解決したかったが、一歩も上がらず未解決。多分私の力では無理である。



川側はガバだらけだが、ホールドの方向が意外と悪くパワフルである。一番左から下流側の右上にトラヴァースしていく課題青ライン)がストレッチで面白い。あまり高く上がらず、なるべく壁の下部をトラヴァースしていくと安全である。

●B岩

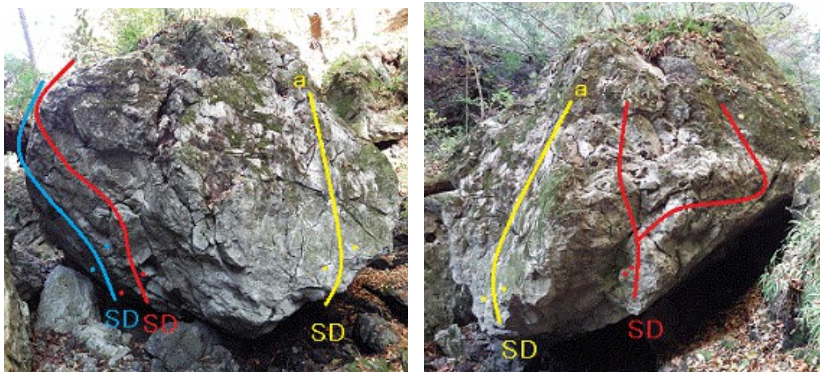
左:川側 右:山側

B、C、D岩へは、間物沢川を飛び石伝いに渡る。

川側は、左の前傾フェイスの2本の課題が楽しめる。赤ラインはガバを使用するが、青ラインはガバを使わず、その左の細かなカチホールドを使って、最後は少し左に抜ける。足は限定なし。

このフェイスをトライする場合は、下に岩が飛び出していたり、後ろに岩(C岩)があるのでマットを上手に敷く必要あり。

山側は、右にトラヴァースする課題がそこそこ楽しめる。



●C岩&D岩

C岩は、台風で下地が大きく削られて川になってしまいトライできなくなりました。元に戻ればトラヴァース課題ができそうである。

D岩は、ボルダーの対象としてはいまいちという感じの岩。